

令和元年度 事業報告

令和元年度においては、ハローワーク妙高管内の有効求人倍率が令和元年 9 月末現在、1.9 倍で「雇用情勢は改善が進んでいる」とされていましたが、県内の経済動向は弱さが続いており、回復の動きにも足踏みが見られるように、雇用の動向には今後も注視が必要な状況となっています。

また、国の「働き方改革実行計画」に基づき、派遣事業における年休の取得や同一労働同一賃金制度の推進で、業務の複雑化と事務量の増加につながるなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。さらに定年延長や雇用延長、定年後の生き方の多様化などで、シルバー会員が不足するという状況も依然として続いています。

このような中、新規会員の確保に向けて、募集チラシやポスターの配布、街頭PR活動の実施、就業情報の発信、市報への広告掲載、マスコミを通じた募集、会員による口コミ募集、1月～3月の会費無料キャンペーンなどを実施したほか、センターのイメージアップに向けた各種事業を実施しました。中でも今年度は、入会率の低い女性会員を増やそうと女性部会を新設し、女性が魅力を感じるセンターを目指して、早速、サロンの開設に取り組みました。

契約額は、適正就業の推進で請負契約から派遣契約への移行が進むとともに、新規派遣契約も徐々に増加し、派遣事業では前年度を5割ほど上回るものと見込まれます。一方、請負事業は派遣への切り替えと少雪に伴う除雪作業の大幅な減少で、前年をさらに下回る結果となりました。

安全就業面では、多発していた草刈り機による石飛事故の撲滅に向けて、全ての草刈班に石飛防止ネットを配布するなど、事故防止に努めました。就業開拓面では、新たに就業開拓専門員2名配置し、年間を通して実効性を重視した開拓活動に努めました。

3年継続で取り組んできた人材育成と普及啓発を目的とした積立金活用計画では、今年度が最終年となりました。大きな成果は得られなかったものの女性会員の増加と退会会員の減少、門松グループの誕生と、一定の成果が見られました。

地域貢献事業としましては、例年どおり経塚山公園や新井別院境内の清掃ボランティアと、2回目の妙高地域、初めての妙高高原地域においてボランティア活動を実施しました。

今後も、だれからも信頼されるセンターとさらなる組織の強化を目指し、会員と役職員が一体となって邁進していくようご協力をお願いし、令和元年度の事業報告といたします。

請負・委任の事業実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	令和元年度実績	平成30年度実績	前年度増減	前年度比
会員数	368 人	366 人	2 人	0.5 %
受注件数	2,090 件	2,261 件	△ 171 件	△ 7.6 %
就業延日人員	22,531 人	24,055 人	△ 1,524 人	△ 6.3 %
配分金額	98,540,144 円	104,554,963 円	△ 6,014,819 円	△ 5.8 %
契約金額	113,166,627 円	119,428,152 円	△ 6,261,525 円	△ 5.2 %

派遣事業の実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	令和元年度実績	平成30年度実績	前年度増減	前年度比
派遣登録会員数	139 人	130 人	9 人	6.9 %
受注件数	61 件	46 件	15 件	32.6 %
就業延日人員	8,701 人	6,555 人	2,146 人	32.7 %
賃金額	34,182,388 円	25,430,497 円	8,751,891 円	34.4 %
契約金額	44,162,947 円	32,741,860 円	11,421,087 円	34.9 %

請負・委任と派遣事業の合計実績を以下のとおりご報告いたします。

項 目	令和元年度実績	平成30年度実績	前年度増減	前年度比
配分・賃金額	132,722,532 円	129,985,460 円	2,737,072 円	2.1 %
契約金額	157,329,574 円	152,170,012 円	5,159,562 円	3.4 %